

## 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒺ表示です。

BOX No. 139511

車両情報

ホンダ N O N E

J G 1 / J G 2 系

1 / 5 ページ

Type N.L.

平成24年11月～

❶ プッシュスタート&amp;セキュリティアラーム付き (全車)

Opt.

◎カバー類の取り外しで運転席側カバーは、2 / 5 ページを参照。ヒューズBOXの外し方は、3 / 5 ページを参照して必ず手順のとおりに行ってください。

## 重要！

- ❶ ◎ヒューズBOXを外す作業の前に、必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外してください。
- ❶ ・ヒューズBOX内にはECUがあるため、バッテリーを外さずにカプラの抜き差しを行うと、ECUが故障する恐れがあります。
  - ❶ ・バッテリーの接続は、必ず全てのカプラ接続作業を完了した後で行ってください。

## ❶ 注意事項：イモビライザーについて

- ・エンジンイモビライザーが、全車標準装着されています。
- ・エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-11イモビユニット・VH201Eハーネスセット（品番：EP152）を使用します。

## ❶ 注意事項：ディーラーオプションについて

- ・ディーラーオプション用品との併用はできません。
- …用品用のオプションカプラをエンジンスターター側でも使用するため、車両側の動きが正常に動かなくなります。

## ❶ 使用上の注意事項

- ① ドアロック／アンロックについて。
  - ・エンジンスターターでアイドリング中は、車両のスマートキー操作により、ドアロック／アンロックが作動します。（キーレスエントリーのボタンでは作動しません）
  - ・エンジンスターターのリモコン（ドアロック／アンロック機能付きモデル）によるドアロック／アンロックはアイドリング中にも作動します。リモコンの操作に連動して、車両のハザードが点滅します。（ドアロック時：1回点滅、アンロック時：2回点滅）
- ② ドアタイマー機能は使用できません。
  - ・ドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止まるようにしてください。または、リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてからドアを開けてください。
- ③ アフターアイドリング機能は使用できません。
  - ・絶対にアフターアイドリング機能を使用しないでください。
  - ・機能を「使用する」に設定された場合、走行してエンジン停止後に車両のACC電源がOFFしないためバッテリーが上がります。
- ④ クランキング時間の設定機能は使用できません。
  - ・この機能の設定操作は行わないでください。設定の必要性もありません。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139511

車両情報

ホンダ N ONE

JG1/JG2系

2/5ページ

Type N.L.

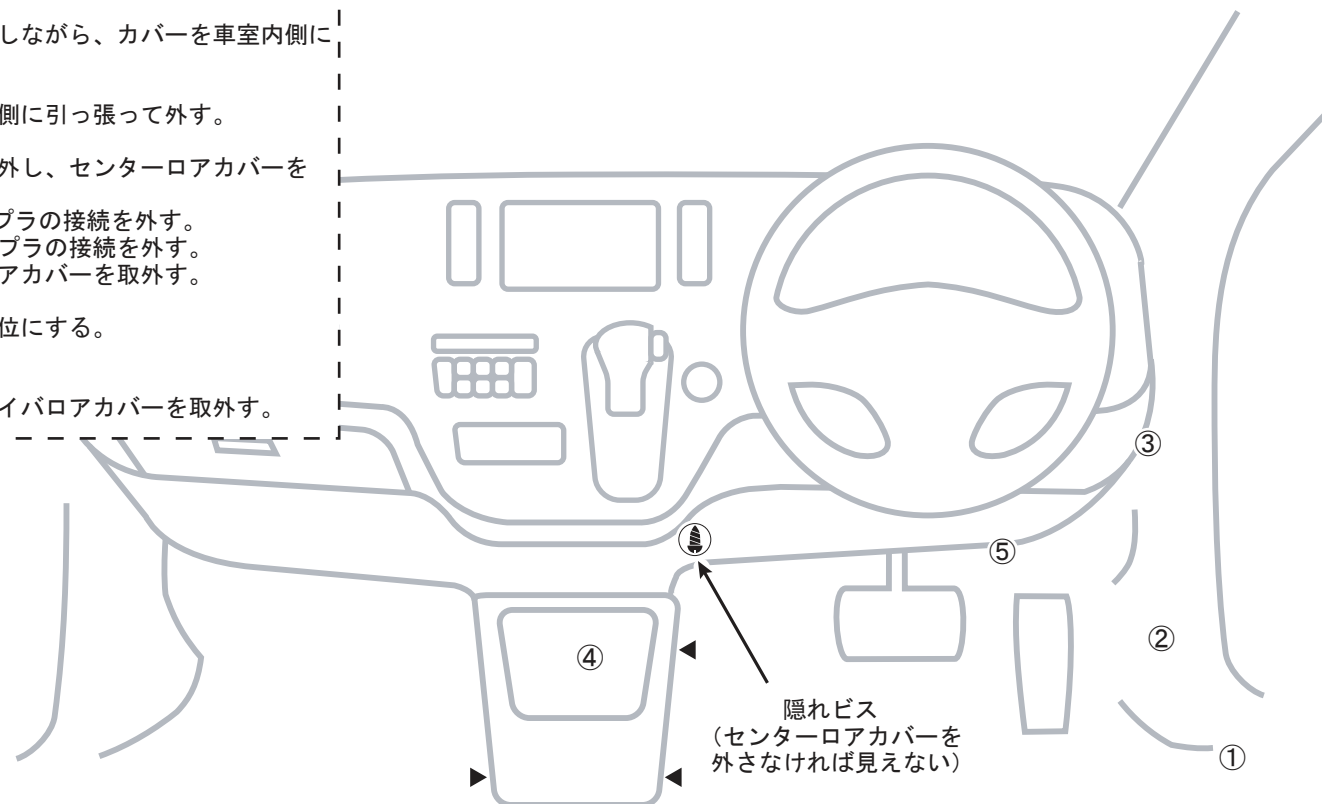
平成24年11月～

❗ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

Opt.

## ❗ カバー類の外し方

- ① 右サイドステップカバー
  - ・上側に引っ張って外す。
- ② 右サイドカバー
  - ・ナイロンクリップ (2箇所) を破損しないように外しながら、カバーを車室内側に引っ張って外す。
- ③ 右サイドリッドを外す。
  - ・ツメ (4箇所) を破損しないように外しながら、外側に引っ張って外す。
- ④ センターロアカバーを外す。
  - ・樹脂製クリップ (左側に1箇所、右側に2箇所) を外し、センターロアカバーを手前に引出す。
  - ・オーディオ装着車: HDMIコードおよびUSBカプラの接続を外す。
  - ・アンビエントライト装着車: アンビエントライトカプラの接続を外す。
  - ・アクセサリソケットカプラの接続を外し、センターロアカバーを取外す。
- ⑤ ロアカバー
  - ・ロックレバーを解除し、コラムのチルト位置を最上位にする。
  - ・左下側の隠れビスを外す。
  - ・ドライバロアカバーを引出す。
  - ・装備に応じて、スイッチカプラの接続を外し、ドライバロアカバーを取外す。



止めネジ等



# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139511

車両情報

ホンダ N ONE

JG1/JG2系

3/5ページ

Type N.L.

平成24年11月～

❗️ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

Opt.

## ❶ ヒューズBOXの外し方

専用ハーネスVH201Eの白色4Pコネクタは、ヒューズBOX裏側のカプラへの割込接続となります。接続作業を行うためには、ヒューズBOXを手前下側に引き出して、作業スペースの確保が必要です。

- ① 車両ボルト (2本) と、右側のツメ (★) を外す。
- ② 必要に応じて、ヒューズBOX表側とヒューズBOX周辺の車両カプラの接続を外す。
- ③ ヒューズBOXを手前側に引き出す。

## ❶ 専用ハーネス (VH201E) の取り付け方法

- ① 白色4Pコネクタを割込接続する。
- ② 白色24Pコネクタを割込接続する。
- ③ 白色2Pコネクタを割込接続する。
- ④ 白色6Pコネクタを接続する。
- ⑤ アース (黒色) を車体アースボルトに固定する。…下記の■マークを参考にして、いずれかの車両側アースポイントへ、固定してください。(アース線の車体アースへの固定が不完全で接触不良等を起こすと、エンジンスタートによる始動ができなくなり、車両側の動作が不安定になる場合があります。)
- ⑥ 白色7Pコネクタをリレーユニット (受信機) のCN1に接続する。
- ⑦ 白色4Pコネクタをリレーユニット (受信機) の4Pカプラに接続する。
- ⑧ 白色14PコネクタをH-11イモビユニットのカプラに接続する。

❶ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。(4/5ページ参照)

### オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

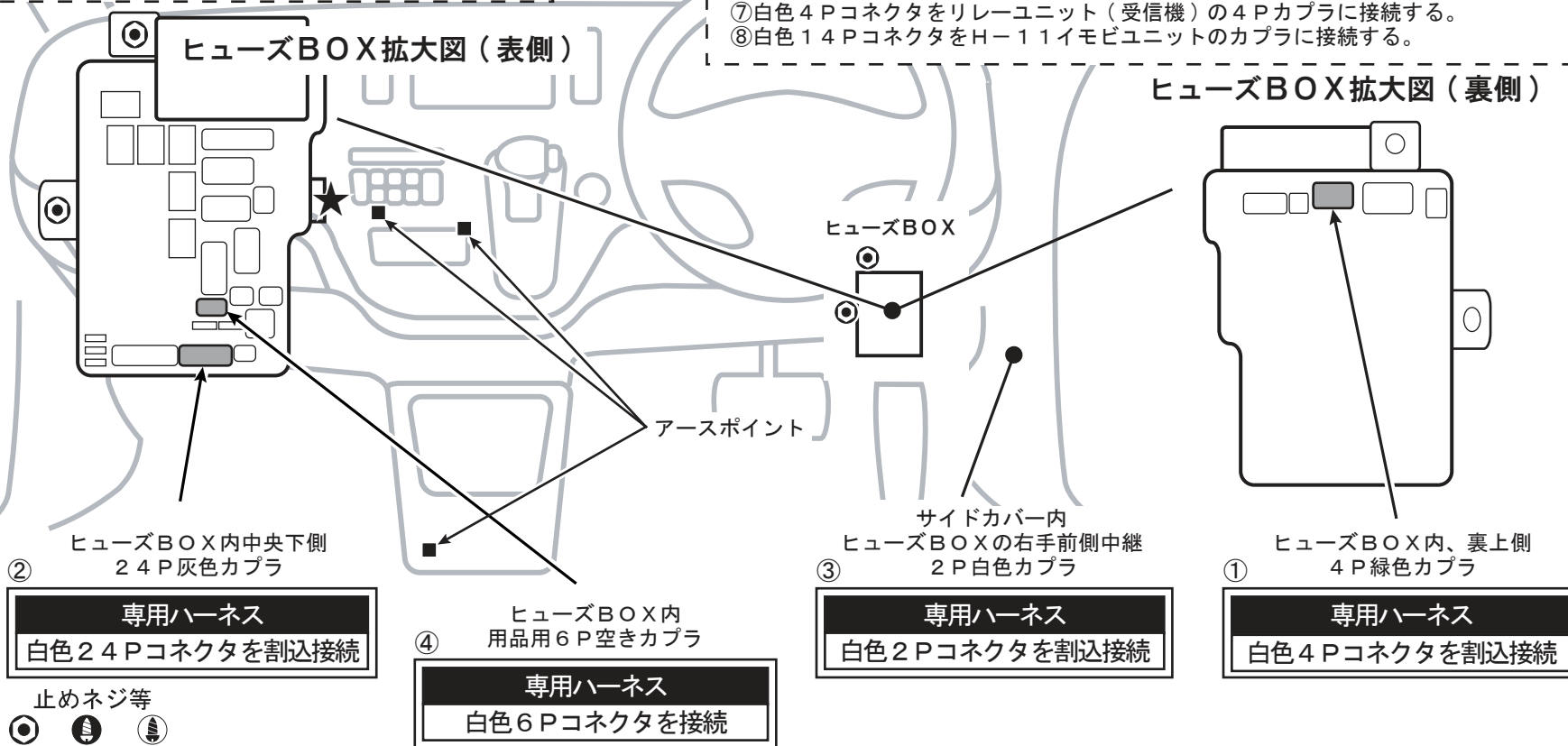
配線内容 (専用ハーネス)

車両カプラ形状

止めネジ等  
ナット ビス 隠れビス

ヒューズBOX拡大図 (表側)

ヒューズBOX拡大図 (裏側)



② ヒューズBOX内中央下側 24P灰色カプラ

専用ハーネス  
白色24Pコネクタを割込接続

④ ヒューズBOX内 用品用6P空きカプラ

専用ハーネス  
白色6Pコネクタを接続

③ サイドカバー内 ヒューズBOXの右手前側中継 2P白色カプラ

専用ハーネス  
白色2Pコネクタを割込接続

① ヒューズBOX内、裏上側 4P緑色カプラ

専用ハーネス  
白色4Pコネクタを割込接続

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139511

## 車両情報

ホンダ N ONE

JG1/JG2系

4/5ページ

平成24年11月～

❗️ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)

Type N.L.

Opt.

## 重要!

### Ⓛ端子の配線について

- ❗️ NAエンジン車(アイドリングストップ装置付き車)は必ずⓁ端子の配線をしてください。Ⓛ端子を配線しないと、エンジン始動の検出が正常にできません。また、ターボ車もエンジン始動の検出が不安定な場合は、Ⓛ端子を接続してください。
- ❗️ Ⓛ端子の接続先は、エンジンルーム内にあります。ハーネスセット(商品コード:EP152またはEP153)に付属の延長ケーブル(2.5m)を使用して、配線をしてください。

- ❗️ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

### オートマチック車認識設定

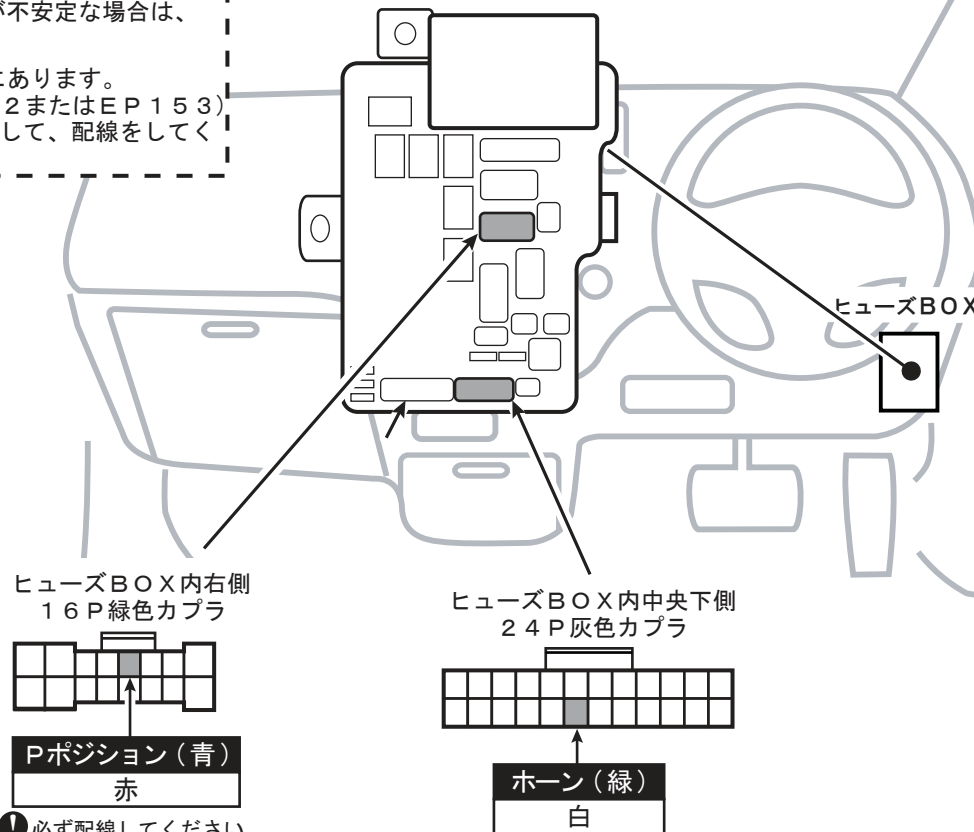
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
  - ② リモコンでSTOPを押す。
  - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
  - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
  - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

### 配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

### ヒューズBOX拡大図(表側)



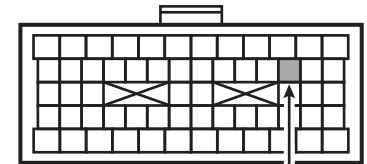
- ❗️ 必ず配線してください。(通常時: 0V、フットブレーキを踏んだとき: 12V)

- ❗️ 機能付き機種のみ配線

### エンジンルーム内

- ❗️ 年式により、Ⓛ端子のカプラが異なります。

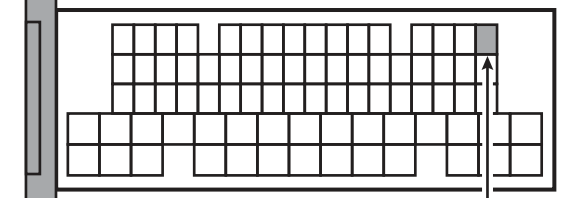
エンジンルーム内前方から見て右側(バッテリーの奥)エンジンコントロールECU右側の60P黒色カプラ



Ⓛ端子(茶) ベージュ

- ❗️ 平成26年5月まで

エンジンルーム内から見て右側(バッテリーの奥)エンジンコントロールECU左側の80P黒色カプラ



Ⓛ端子(茶) ベージュ

- ❗️ 平成26年5月～

- ❗️ どちらのカプラ内にもベージュ配線は2本あるので注意してください。接続後、電圧を確認してください。(IG ON時: 0V、エンジン始動後: 12V)

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 139511

車両情報	ホンダ N ONE	JG1/JG2系	5/5ページ	Type N.L.
	平成24年11月～	❗ プッシュスタート&セキュリティアラーム付き (全車)		Opt.

❗ セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア検出ユニット (EPO30) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の2箇所に分岐接続してください。

❗ **注意事項: CN2配線の接続について**  
 ・取り付けするエンジンスターターがドアロック/アンロック機能付きの場合は、エンジンスターターのCN2ハーネスのロック (灰色)、アンロック (黄色) は、車両側配線には接続せずに、必ず専用ハーネス (14P白色カブラのハーネスにテーピングされている短い灰色線と黄色線) に接続してください。

❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

**オートマチック車認識設定**

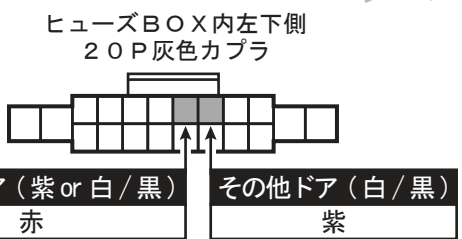
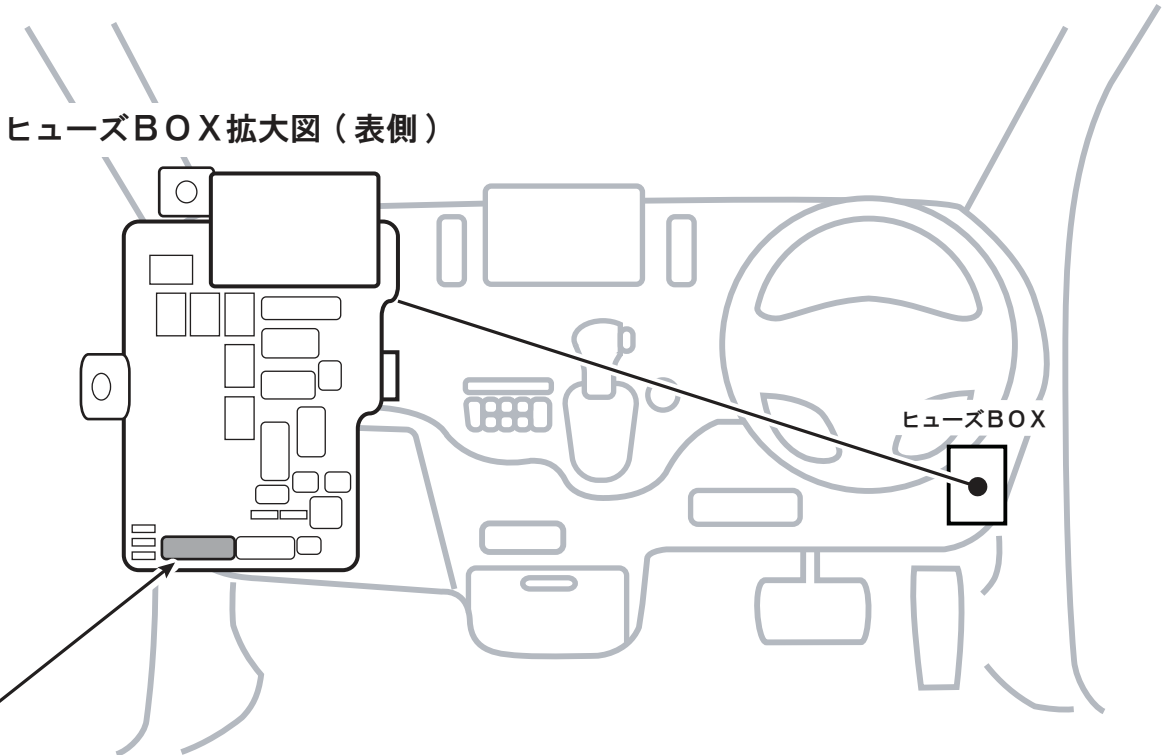
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※ 設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)  
**車両配線色**

ヒューズBOX拡大図 (表側)



❗ ドア検出ユニットを使用しない場合は、CN2ハーネスの紫色線を運転席ドア配線に接続してください。  
 (運転席ドアの開閉のみ検出)